



独自の技術と経験をもとに様々なご提案をしている富士通パートナー「富士テレコム」。お役立ち情報を皆様にお届けいたします。

■ 今月のお役立ちテーマ ■

① ホームの居心地度が入居を左右します

長嶺堅二郎



松下電工（現パナソニック）入社。1999年より同社エイジフリー事業に転進。介護専用型有料老人ホーム「エイジフリー・ライフ大和田 / 星が丘」の経営・運営に携わる。高齢者住宅関連のコンサルティングやスタッフ研修、講演、執筆活動を行い、他に大阪市立大学大学院非常勤講師、全国有料老人ホーム協会・大阪府地域福祉推進財団研修講師、日本応用老年学会顧問・新創美術協会副会長を務め、福祉サービス第3者評価調査者、ライフサポートアドバイザーの資格をもつ。CSねっと企画合同会社代表。

ホームの玄関を入った瞬間、そのホームが、入居が安定しているかどうか、だいたいわかります。介護、自立を問わずホームは「部屋を売る」のではなく「暮らし方を売る」ことになります。その暮らし方で一番大事なのは、自宅と一緒に「居心地度」です。

ホームでの居心地度は何で決まってくるかというと、一つ目は花や写真、絵、置物等の調度品、二つ目は職員の顔写真、告知板、案内板、ポスター等掲示物、三つ目は床・壁・天井の内装、家具類等のインテリア、四つ目は職員・スタッフの挨拶、笑顔、気づき等の立ち居振る舞いです。この4つが品よく全部合わさって初めて「居心地」が良くなるものです。入居検討者はこのことを瞬時に感じるもので、入居が決まるも決まらないもこのことが一番大きいはずです。

従って責任者始め職員は常に季節目線・生活目線・高齢者目線・車イス目線・女性目線・主婦目線・尊敬目線で館内を見渡すことが大事です。その為に様々な仕組みを作って、その気づきを継続していかなければなりません。例えば花や絵を四季で交換していく、職員の顔写真は写真を撮るときに背景や顔の大きさを同じにし最高の笑顔で撮る。掲示物は古いものがいつまでも掲示しないように掲示期限を決める。インテリア類は一度決めたらそうは変えられないので整理整頓、清潔さを維持できるように点検日と担当を決める（5S活動）。職員の笑顔、立ち居振る舞いを継続する為に朝礼の場を使って、笑顔や言葉遣い、身だしなみ、立ち姿を相互観照することを取り入れると同時に理念や行動指針、まごころ接遇宣言を唱和する仕組みをつくって廻していくことです。

更に全館を五感（味覚・視覚・触覚・臭覚・聴覚）でチェックし合う意識を全員が持つこと、「慣れ・ダレ・ミダレ・クズレ」の無いように！ 居心地の良い所には人が集まり、人が集まると繁栄し、入居は安定します。

② 生活リハの役割と留意したいこと

前田万亀子



編集会社およびデザイン会社勤務後、1993年にプランニング Maki を設立。多様な業種の広告・出版業務に携わり、大阪の ATC エイジレスセンターに事務所を設置したのをきっかけに福祉・介護分野に取り組み始める。高齢者の聞き取り取材や自分史、DVDづくりを手がける。介護関係の出版物『認知症ケア』『リハビリ体操』『口腔ケア』（ひかりのくに株式会社）など多数。CSねっと企画合同会社所属。一般社団法人 PORO 理事
<http://omoide-poro.sakura.ne.jp/>

基本的にはリハビリは医師の指導の上で行うものと考えられていますが、生活の中でのリハビリ、いわゆる「生活リハ」は介護職の領域です。医療としてのリハビリは治療に重点を置きますが、介護では機能低下の予防、現状を維持して生活の質を保つ生活支援に重点が置かれます。高齢者と日常的に接する介護職がリハビリを意識し、これにPTやOTから得た知識が加われば、ADL（日常生活動作）の向上に必ず役立つでしょう。それには高齢者の特性を理解して取り組む必要があります。

運動器機能の低下・学習が困難になる
 注意・集中力の低下・安全管理ができない



転倒しやすい・介護量が増える
 移動や行動の範囲が制限される

<生活リハの機能と役割>

- ①機能回復…体力・日常生活動作能力・身体機能の維持や改善、生活意欲の向上
- ②社会性回復…閉じこもりの防止、コミュニケーション能力の回復、生活範囲の拡大
- ③介護者や家族支援…介護の軽減、介護からの解放

これらを念頭において、まず原則として、「できないことの手助けをする」「できることのじゃまをしない」「安全に、無理をさせない」ことです。リハビリだからといって無理をさせすぎないようにして、心身の状態を配慮しながら行います。能力以上の無理をさせると、かえって悪化させてしまうこともあります。逆に、介護や介助をやりすぎないようにすることも大切です。また、意欲を低下させないように具体的な目標を掲げ、意欲を上手に引き出すよう心がけましょう。何より高齢者と介護職が同じ目的意識を持つことが重要です。

～シニアメイト SaaS 便利機能のご紹介～

シニアメイト SaaS は高齢者住宅運営における「人・もの・お金」の管理を行い、施設運営に必要な「業務の標準化」や「見える化」を経営視点と実務視点の双方よりサポートします。

シニアメイト SaaS のさまざまな機能の中で、本日は売上傳票登録に関する便利機能をご紹介します。

「利用伝票（売上傳票）機能・Excel 取込機能」

高齢者住宅内で日々発生する介護保険外の売上を毎月集計し請求書におこすのはとても手間がかかります。シニアメイトでは日々の伝票を簡単な入力画面で登録する事で月末月初の請求業務を大幅に効率化する事が可能です。

また、利用伝票 Excel 取込機能はシニアメイトから出力された Excel フォーマットに随時明細を追加する事で、月末に一括で伝票を取込み、請求データを作成する事が可能で、現場の皆様は Excel 感覚で入力する事も可能です。

その他、他社のレストランシステムなどより出力される Excel ファイルをシニアメイト指定のフォーマットで取込みを行う事も可能です。

レストラン部門や有料サービス部門の売上管理の効率化をご検討の際は、是非、お気軽にお問合せください。

●お問い合わせ先●

03-3962-0222

(担当：植村、森、小野寺)

■「シニアメイト SaaS」業務フローチャート■

「シニアメイト SaaS」は、入居者・来館者管理、居室管理、精算管理、売掛金管理等の基本機能に加え、顧客管理、入居者・従業員の満足度調査の機能も搭載しており、円滑な施設運営をサポートします。

